



## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月3日

上場会社名 株式会社 ジーエス・ユアサ コーポレーション 上場取引所 東  
 コード番号 6674 URL <https://www.gs-yuasa.com/jp>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 CEO (氏名) 村尾 修  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 CFO (氏名) 松島 弘明 (TEL) 075-312-1211  
 四半期報告書提出予定日 2023年8月3日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	120,540	8.2	4,836	35.5	4,935	119.7	1,649	169.3
2023年3月期第1四半期	111,429	16.7	3,570	11.2	2,246	△47.4	612	△77.1

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 10,766百万円(△14.6%) 2023年3月期第1四半期 12,610百万円(184.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年3月期第1四半期	円 銭 20.51	円 銭 —
2023年3月期第1四半期	7.62	—

(参考) のれん等償却前営業利益 2024年3月期第1四半期 4,947百万円(29.0%) 2023年3月期第1四半期 3,834百万円(1.6%)

当社は、経営上の重要な指標として、のれん等償却前営業利益を用いております。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年3月期第1四半期	百万円 550,632	百万円 277,222	% 42.9
2023年3月期	540,906	270,890	42.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 236,453百万円 2023年3月期 230,677百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭 —	円 銭 15.00	円 銭 —	円 銭 35.00	円 銭 50.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	15.00	—	35.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	260,000	10.5	9,000	9.4	7,000	16.4	2,500	45.9	31.07
通期	580,000	12.0	33,000	4.8	27,000	11.5	14,000	0.5	174.02

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、本日(2023年8月3日)公表いたしました「2024年3月期 第2四半期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期1Q	80,599,442株	2023年3月期	80,599,442株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	147,420株	2023年3月期	146,539株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期1Q	80,452,650株	2023年3月期1Q	80,439,943株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は今後さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)	8
(セグメント情報等)	9
(追加情報)	11
3. 補足情報	12
(四半期損益の推移)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### ① 業績全般の動向

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、サプライチェーンの回復が進み、自動車生産台数が回復に向かう等、緩やかに持ち直しの動きが見られますが、エネルギー価格の高騰や物価の上昇によるインフレが継続しています。世界的に金融引締め政策が実施されており、景気下振れリスクや、金融市場の変動等、先行き不透明な状況が続いています。

このような経済状況の中、当社グループでは、主としてハイブリッド車用リチウムイオン電池の販売数量が増加していることや、販売価格是正の取組を進めていることにより、当第1四半期連結累計期間の売上高は、1,205億40百万円と前第1四半期連結累計期間に比べて91億11百万円増加(8.2%)しました。これに伴い、営業利益は48億36百万円(のれん等償却前営業利益は49億47百万円)と前第1四半期連結累計期間に比べて12億65百万円増加(35.5%)しました。経常利益は持分法による投資損益や為替差損益の改善等により、49億35百万円と前第1四半期連結累計期間に比べて26億89百万円増加(119.7%)しました。親会社株主に帰属する四半期純利益は16億49百万円と、前第1四半期連結累計期間に比べて10億37百万円増加(169.3%)しました。

#### ② 報告セグメント別の動向

当第1四半期連結会計期間より、一部の連結子会社のセグメントを変更しており、当第1四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」(セグメント情報等)に記載のとおりです。

##### (自動車電池)

国内における売上高は、新車販売台数の回復に伴い、新車用電池の販売数量が前年同期を上回ったことに加え、販売価格是正の取組を進め、196億1百万円と前第1四半期連結累計期間に比べ19億7百万円増加(10.8%)しました。セグメント損益(のれん等償却前)は、10億28百万円と前第1四半期連結累計期間に比べて69百万円増加(7.3%)しました。

海外における売上高は、主にアセアンにおける販売数量減少の影響を受け、583億55百万円と前第1四半期連結累計期間に比べて16億12百万円減少(△2.7%)しました。セグメント損益は、インフレによるコスト増に対する価格転嫁の取組を進めましたが、27億62百万円と前第1四半期連結累計期間に比べて2億59百万円減少(△8.6%)しました。

これにより、国内・海外合算における売上高は、779億56百万円と前第1四半期連結累計期間に比べて2億95百万円増加(0.4%)しました。セグメント損益(のれん等償却前)は、37億90百万円と前第1四半期連結累計期間に比べて1億89百万円減少(△4.8%)しました。

##### (産業電池電源)

売上高は、前期より進めている販売価格是正の取組により、179億13百万円と前第1四半期連結累計期間に比べて8億78百万円増加(5.2%)しました。セグメント損益は、1億52百万円の利益と前第1四半期連結累計期間に比べて6億88百万円改善しました。

##### (車載用リチウムイオン電池)

売上高は、ハイブリッド車用リチウムイオン電池の販売数量が増加したことにより、194億62百万円と前第1四半期連結累計期間に比べて71億4百万円増加(57.5%)しました。セグメント損益は、4億37百万円と前第1四半期連結累計期間に比べて54百万円増加(14.2%)しました。

##### (その他)

売上高は、航空機用電池の販売が好調に推移し、52億8百万円と前第1四半期連結累計期間に比べて8億32百万円増加(19.0%)しました。全社費用等調整後のセグメント損益は5億66百万円と前第1四半期連結累計期間に比べて5億59百万円増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、売上債権の回収による減少がありましたが、棚卸資産の増加や保有株式の時価評価による増加等により、5,506億32百万円と前連結会計年度末に比べて97億25百万円増加しました。

負債は、借入金が増加したものの、仕入債務および設備関係電子記録債務の増加等により、2,734億10百万円と前連結会計年度末に比べて33億93百万円増加しました。

純資産は、配当金の支払がありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益による増加や為替レートの変動による為替換算調整勘定の増加等により、2,772億22百万円と前連結会計年度末に比べて63億31百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間における販売価格更正の取組が順調に推移したことや、営業外収益で為替差益を計上するなどにより、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益が前回発表予想を上回る見通しとなりました。

なお、2024年3月期通期の連結業績予想につきましては、景気下振れリスクや金融市場の変動など、先行き不透明な状況が続いていることから2023年5月11日公表の予想から変更はありません。

詳細につきましては、本日(2023年8月3日)公表いたしました「2024年3月期 第2四半期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 2023年3月31日	当第1四半期連結会計期間 2023年6月30日
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	36,272	37,567
受取手形、売掛金及び契約資産	97,591	84,518
電子記録債権	6,855	6,864
商品及び製品	60,127	66,759
仕掛品	21,848	24,901
原材料及び貯蔵品	28,094	27,959
その他	15,722	17,651
貸倒引当金	△387	△394
流動資産合計	266,125	265,829
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	60,135	59,563
機械装置及び運搬具（純額）	51,036	49,742
土地	28,390	28,083
リース資産（純額）	222	217
使用権資産（純額）	7,946	8,339
建設仮勘定	10,985	16,718
その他（純額）	6,326	6,447
有形固定資産合計	165,043	169,112
無形固定資産		
のれん	1,233	998
リース資産	673	680
その他	3,333	3,055
無形固定資産合計	5,240	4,734
投資その他の資産		
投資有価証券	63,254	68,692
退職給付に係る資産	31,894	32,074
繰延税金資産	2,077	2,168
リース債権	2,694	2,852
その他	4,894	5,488
貸倒引当金	△344	△344
投資その他の資産合計	104,470	110,932
固定資産合計	274,754	284,779
繰延資産	26	23
資産合計	540,906	550,632

(単位：百万円)

	前連結会計年度 2023年3月31日	当第1四半期連結会計期間 2023年6月30日
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	51,691	53,896
電子記録債務	25,327	25,377
短期借入金	42,318	45,054
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
未払金	14,225	11,268
未払法人税等	4,081	2,290
設備関係支払手形	192	234
設備関係電子記録債務	3,539	7,582
役員賞与引当金	120	120
その他	23,816	26,766
流動負債合計	175,312	182,592
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	41,357	35,350
リース債務	8,510	9,108
繰延税金負債	20,474	21,525
再評価に係る繰延税金負債	777	777
役員退職慰労引当金	78	69
退職給付に係る負債	5,372	5,655
その他	8,133	8,330
固定負債合計	94,704	90,817
負債合計	270,016	273,410
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	33,021	33,021
資本剰余金	53,201	53,201
利益剰余金	103,503	102,335
自己株式	△321	△323
株主資本合計	189,404	188,234
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,173	16,924
繰延ヘッジ損益	△450	△738
土地再評価差額金	1,794	1,794
為替換算調整勘定	18,727	23,422
退職給付に係る調整累計額	7,026	6,815
その他の包括利益累計額合計	41,272	48,218
非支配株主持分	40,213	40,768
純資産合計	270,890	277,222
負債純資産合計	540,906	550,632

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 自 2022年4月1日 至 2022年6月30日	当第1四半期連結累計期間 自 2023年4月1日 至 2023年6月30日
売上高	111,429	120,540
売上原価	87,363	94,712
売上総利益	24,066	25,828
販売費及び一般管理費	20,495	20,991
営業利益	3,570	4,836
営業外収益		
受取利息及び配当金	493	566
持分法による投資利益	—	211
為替差益	—	607
正味貨幣持高による利得	795	60
その他	118	263
営業外収益合計	1,406	1,708
営業外費用		
支払利息	494	883
持分法による投資損失	1,277	—
為替差損	789	—
債権売却損	52	386
その他	116	339
営業外費用合計	2,730	1,609
経常利益	2,246	4,935
特別利益		
固定資産売却益	6	5
投資有価証券売却益	7	—
国庫補助金受贈益	—	101
保険解約返戻金	—	240
段階取得に係る差益	1,010	—
持分変動利益	—	101
特別利益合計	1,024	448
特別損失		
固定資産除却損	121	475
固定資産売却損	1	0
固定資産圧縮損	—	101
退職給付費用	—	121
特別損失合計	123	698
税金等調整前四半期純利益	3,148	4,685
法人税等	1,337	1,547
四半期純利益	1,810	3,137
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,198	1,488
親会社株主に帰属する四半期純利益	612	1,649

## (四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 自 2022年4月1日 至 2022年6月30日	当第1四半期連結累計期間 自 2023年4月1日 至 2023年6月30日
四半期純利益	1,810	3,137
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12	2,661
繰延ヘッジ損益	854	△480
為替換算調整勘定	8,151	4,711
退職給付に係る調整額	△130	△211
持分法適用会社に対する持分相当額	1,937	946
その他の包括利益合計	10,799	7,628
四半期包括利益	12,610	10,766
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	9,330	8,595
非支配株主に係る四半期包括利益	3,279	2,170

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	自動車電池			産業電池 電源	車載用 リチウム イオン電池	計		
	国内	海外	小計					
売上高								
外部顧客への売上高	17,693	59,967	77,660	17,034	12,358	107,053	4,375	111,429
セグメント間の内部 売上高又は振替高	310	1,156	1,467	4,845	66	6,379	△6,379	—
計	18,003	61,124	79,128	21,880	12,425	113,433	△2,003	111,429
セグメント利益又は 損失(△)	958	3,021	3,980	△536	383	3,827	7	3,834

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント及びセグメント利益の調整額であります。報告セグメントに含まれない事業セグメントは、特殊電池事業等を含んでおります。セグメント利益又は損失(△)の調整額は△336百万円であり、セグメント間取引消去△61百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△275百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. 上表のセグメント利益又は損失(△)の合計額と連結損益計算書上の営業利益3,570百万円との差は、のれん等の償却費263百万円であります。のれん等には、企業結合日において識別可能資産として受け入れた無形固定資産を含んでおります。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「自動車電池海外」セグメントにおいて、Inci GS Yuasa Aku Sanayi ve Ticaret Anonim Sirketiの株式を取得し連結子会社としたことにより、当第1四半期連結会計期間より、同社を連結の範囲に含めております。

これに伴うのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間において4,121百万円であります。なお、のれんの金額は、取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額であります。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	自動車電池			産業電池 電源	車載用 リチウム イオン電池	計		
	国内	海外	小計					
売上高								
外部顧客への売上高	19,601	58,355	77,956	17,913	19,462	115,332	5,208	120,540
セグメント間の内部 売上高又は振替高	293	1,067	1,361	2,815	2,181	6,357	△6,357	—
計	19,894	59,422	79,317	20,728	21,643	121,689	△1,148	120,540
セグメント利益	1,028	2,762	3,790	152	437	4,380	566	4,947

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメント及びセグメント利益の調整額であります。報告セグメントに含まれない事業セグメントは、特殊電池事業等を含んでおります。セグメント利益の調整額は△534百万円であり、セグメント間取引消去△248百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△286百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. 上表のセグメント利益の合計額と連結損益計算書上の営業利益4,836百万円との差は、のれん等の償却費110百万円であります。のれん等には、企業結合日において識別可能資産として受け入れた無形固定資産を含んでおります。

## 2 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、製品を軸としたセグメント業績をより適切に把握するために、組織の管理区分の見直しを行った結果、従来「産業電池電源」に含まれていた一部の連結子会社について、「その他」にセグメントを変更しております。

前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントにより記載しております。

(追加情報)

(連結の範囲の変更)

当第1四半期連結会計期間において、連結子会社であった株式会社GSユアサ インフラシステムズは、同じく連結子会社である株式会社GSユアサを存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(超インフレ経済下における会計処理)

前連結会計年度において、トルコにおける3年間の累積インフレ率が100%を超えたため、当社グループはトルコ・リラを機能通貨とするトルコの子会社について、超インフレ経済下で営業活動を行っている判断いたしました。このため、前第1四半期連結会計期間より、当社グループは、トルコの子会社の財務諸表について、IAS第29号「超インフレ経済下における財務報告」に定められる要求に従い、会計上の調整を加えております。IAS第29号は、超インフレ経済下にある子会社の財務諸表について、報告期間の末日現在の測定単位に修正したうえで、連結財務諸表に含めることを要求しております。当社グループは、トルコにおける子会社の財務諸表の修正のため、Turkish Statistical Institute (TURKSTAT) が公表するトルコの消費者物価指数 (CPI) から算出する変換係数を用いております。トルコにおける子会社は、取得原価で表示されている有形固定資産等の非貨幣性項目について、取得日ないし再評価日を基準に変換係数を用いて修正しております。現在原価で表示されている貨幣性項目及び非貨幣性項目については、報告期間の末日現在の測定単位で表示されていると考えられるため、修正しておりません。正味貨幣持高に係るインフレの影響は、連結損益計算書の営業外損益に表示しております。トルコの子会社の財務諸表は、四半期末日の直物為替相場により円貨に換算し、当社グループの連結財務諸表に反映しております。

## 3. 補足情報

## (1) 四半期損益の推移

2024年3月期 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)

(単位: 百万円)

	①第1四半期 (2023/4-6)	②第2四半期 (2023/7-9)	③第3四半期 (2023/10-12)	④第4四半期 (2024/1-3)	⑤第2四半期 (①+②)	⑥第3四半期 (⑤+③)	⑦通期 (⑥+④)
売上高	120,540	—	—	—	—	—	—
営業利益	4,836	—	—	—	—	—	—
経常利益	4,935	—	—	—	—	—	—
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	1,649	—	—	—	—	—	—

2023年3月期 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位: 百万円)

	①第1四半期 (2022/4-6)	②第2四半期 (2022/7-9)	③第3四半期 (2022/10-12)	④第4四半期 (2023/1-3)	⑤第2四半期 (①+②)	⑥第3四半期 (⑤+③)	⑦通期 (⑥+④)
売上高	111,429	123,794	139,655	142,854	235,224	374,880	517,735
営業利益	3,570	4,653	10,770	12,505	8,224	18,994	31,500
経常利益	2,246	3,769	10,048	8,150	6,015	16,063	24,213
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	612	1,100	6,135	6,076	1,713	7,849	13,925

2022年3月期 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位: 百万円)

	①第1四半期 (2021/4-6)	②第2四半期 (2021/7-9)	③第3四半期 (2021/10-12)	④第4四半期 (2022/1-3)	⑤第2四半期 (①+②)	⑥第3四半期 (⑤+③)	⑦通期 (⑥+④)
売上高	95,458	99,666	118,022	118,986	195,124	313,146	432,133
営業利益	3,210	2,016	8,675	8,761	5,226	13,902	22,664
経常利益	4,268	2,301	9,507	8,607	6,569	16,076	24,684
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	2,681	△473	1,141	5,119	2,207	3,348	8,468

2021年3月期 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位: 百万円)

	①第1四半期 (2020/4-6)	②第2四半期 (2020/7-9)	③第3四半期 (2020/10-12)	④第4四半期 (2021/1-3)	⑤第2四半期 (①+②)	⑥第3四半期 (⑤+③)	⑦通期 (⑥+④)
売上高	76,376	95,949	105,691	108,494	172,325	278,016	386,511
営業利益	1,002	4,292	9,089	10,426	5,294	14,383	24,810
経常利益	1,699	4,800	10,123	10,655	6,500	16,623	27,279
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	△27	149	5,546	5,787	121	5,667	11,455

2020年3月期 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位: 百万円)

	①第1四半期 (2019/4-6)	②第2四半期 (2019/7-9)	③第3四半期 (2019/10-12)	④第4四半期 (2020/1-3)	⑤第2四半期 (①+②)	⑥第3四半期 (⑤+③)	⑦通期 (⑥+④)
売上高	90,082	100,331	102,662	102,476	190,414	293,077	395,553
営業利益	2,040	5,508	6,872	7,254	7,549	14,421	21,676
経常利益	2,873	5,551	7,499	7,185	8,424	15,924	23,109
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	1,473	3,300	4,430	4,469	4,774	9,204	13,674